

はじめに～

司会／今泉市民協働推進課長

皆さんこんばんは。

市民協働推進課長の今泉でございます。わかば議会の議長が決定するまで私が進行を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。

それでは、ただいまから令和2年度第1回豊橋わかば議会を開会いたします。

1. 委嘱状交付

司会／今泉市民協働推進課長

はじめに、委嘱状交付を行います。本来であれば委員、全員に委嘱状をお渡しさせていただくところでございますが、コロナ禍ということもありますので、代表して、天野愛悠委員に交付させていただきます。

天野愛悠委員、正面にお進みください。

市長／佐原 光一

委嘱状 天野愛悠様 豊橋わかば議会若者委員を委嘱する。

令和2年7月30日 豊橋市長 佐原光一

よろしくお願いいたします。

司会／今泉市民協働推進課長

ありがとうございました。

なお、その他の委員の皆さまにはそれぞれ机の上に委嘱状をお配りしておりますので、ご確認ください。

2. 市長挨拶

司会／今泉市民協働推進課長

続きまして、佐原 豊橋市長から御挨拶を申し上げます。

市長／佐原 光一

みなさま、こんばんは。令和2年度に初めて、豊橋市としては行うんですけれども、豊橋わかば議会、まず今日は所信表明の開催にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

先ほど、天野愛悠委員に委嘱状を手渡しました。本来ね、進行役の方から説明があったように、みんなに1人ずつお渡ししなきゃいけないんですが、リスクを避けるということでこんな風になりました。私自身としては、読めない名前がたくさんあるなど、ビクビクしておったんです。それがなくなって、ちょっと安心しておるところであります。

さて、豊橋わかば議会ですけれども、はっきり言いまして、新城市がやっている若者議会

がとても面白いなど、前からずっと関心をもっておりました。豊橋市でもなんとか若い人たちの気持ちを、行政とか、自分たちの社会の周りの問題に、もうちょっと目を向けてもらえるような仕掛けができないかなと、こんな風に思っていたところです。まあ、なんとか形ができて、今年スタートしようと、こうなったんですが、一番心配したのはですね、応募者がいなかったらどうしよう、ということでした。新城市も2回目、3回目になると、苦勞されていると伺っておりましたので、豊橋市は新城市と比べても、保守的かなと思うときも時々ある町ですので、応募者がいなかったらどうしようと、ハラハラ、ドキドキしながらのスタートでありました。幸い、応募者はここにいる20名だけでなく、全体では50名を超える応募がありました。その中から選考された20名が、今日、初のわかば議会の会場に参加されているということになります。

わかば議会を通じて、私たちが何をしようと、考えているのか、皆さんとても関心があるかと思えます。行政の立場からいえば、若者の意見を吸い上げて、それを行政の中に反映していくということになるんですが、私が考えているのは、逆の立場。若者の人たちにもっと行政に関心を持っていただいて自ら何かやってみたいな、やらなきゃいけないなという気持ちになっていただけたらいいなと。そのことがきっとそれぞれの若者の未来にも大きな意味があることになっていくだろうし、もしかしたら人生を変えるような大きな経験、そして大きな誇りを持てることを成し遂げる1年になることを期待するところでもあります。

若者にとって住みやすいまちにするという事は、私自身そこまで重要視するところではないと考えています。それよりも、どんなことをしたいのか、なにかやれることはないかとしっかり考えていただけて、それを形にできるようにみんな考えてまとめていただけたら嬉しく思います。

世の中は、今回のコロナウイルス禍を経ながら、とても大きな転換を迎えています。歴史的に見ても、こうした経済や社会が転換するきっかけとしては、戦争であったり、これはあまり良い例ではないですが。経済危機であったり、また時々産業革命や、エネルギーの転換の地点であったり、いろいろなことがきっかけとなりますが、今回のコロナ禍はきっとこれからの21世紀の最初の大きな社会を変えるきっかけであったと、後々ですね、語られる年になるのではないかと思います。今、いろいろ言われていることの一つに「デジタルトランスフォーメーション」という言葉があったり、「society5.0」という言葉があったり、「インダストリー4.0」などいろいろなことが言われていますが、いずれもデジタルの社会の中で、たくさんデータをどうやって生かしていくか、データといっても、人口が何人になりましたとかだけではなく、いろいろなものを数値化することによって、これまで見えなかったものが見えてくるようになる、そんなことがたくさんあるのではないかと思います。それを如何に上手に自分たちの生きる社会に、自分の未来の中に活かしていけるかということが、これからの皆さんの人生、私たちのこのまち、そしてもしかしたらこの地球を大きく動かしていくきっかけになってくるんじゃないかと思います。

こんな難しい話をしていると、こんな難しいことを会議の中でやるのかなと思われるか

もしれませんが、きっと私たちの世代がもっているデジタルへの感覚、難しさや複雑さと比べると、みなさんのもっているデジタルへの感覚はきつともっと自然な形で日常生活の中に溶け込んでいるのだらうと思います。

なんととっても、私たちが採用試験をするとびっくりするのは、キーボードで打つととても遅いが、フリック入力をするとても早い。私たちとは全く異なる社会の中で成長してきているし、それを使いこなしてきているそういった世代です。私の息子から見ても、一回り若い世代の人たちですから。息子の機械の使い方の覚え方を見ていて、とてもハラハラドキドキして見ていました。理屈から入る私たちの世代と違って、実体から入る、実際に使ってみて、やってみて考えればいいじゃんと思える世代、そしてもしかしたらみなさんの世代はさらにその一歩先をいっている世代かもしれない。そんな人たちが自分たちにとってこんなまちでありたい、こんなちょっとした社会であってみたい、自分の前にこんなものがあったらいいじゃないか、こんなことができたらいいじゃないか、ということ自由に話し合っていて、この世の中を変えるきっかけのなにか一つを、この豊橋市の歴史の中に残していただけたら嬉しく思います。

豊橋のまちは今、SDGsという言葉の原点を掲げて、政策のある意味、物差しとして評価をさせていただいております。実際に、市役所でありながら途上国との交流もたくさん行ってきておりますし、支援の形でスマトラ島の山の中に行ってみたり、ボルネオの政府からここに行つてはいけないといわれているような町に行ってみたり、様々な出来事、様々な体験をしながら、市政づくりを行っています。

是非、いろんなことに関心を持っていただき、この際、市が行っている行政にも首を突っ込んでいただいて、いろいろ勉強していただきながら、皆さんの議会をしっかりと盛り上げ、そして1年をかけて作り上げていっていただきたいというふうに思います。

これから、始まる議会の中で、自由闊達な意見を交わしていただいて、そしてみなさんでモノを作り上げていく、まとめあげていく仕事を是非達成していただいて、素晴らしい1年にしていきたいと思つています。

最後になりますが、新型コロナウイルスにかからないようにしていただいて、その他これから熱中症とか危険因子が自分たちの周りにたくさんあります。そういったものをしっかりと避けていただき、元気にこの1年を送っていただきたく思つています。

以上、ちょっと難しい話になってしまったかなとは思つていますが、みなさんにとって素晴らしい議会になることを期待して挨拶とさせていただきます。

ありがとうございます。

司会／今泉市民協働推進課長

ありがとうございました。

3. わかば議会議長選出、副議長指名

司会／今泉市民協働推進課長

続きまして、わかば議会の議長の選出を行います。

豊橋わかば議会実施要綱第6条第2項により、議長は委員の互選により定めることとなっております。

事前に議長立候補の申し出を受け付けさせていただいており、山本敦也委員から申し出がございました。

山本委員、その場にお立ちください。

他に立候補者はございませんでしたので、山本委員を議長として選任することに御異議がなければ拍手をもってご賛同をお願いしたいと思います。

(拍手)

御異議なしと認め、山本委員が議長に決定しました。

それでは、山本議長から御挨拶をいただきます。

また、豊橋わかば議会実施要綱第6条第2項におきまして、副議長は議長が指名することとなっておりますので、挨拶に続いて、副議長の指名につきましてもお願いしたいと思います。それでは、山本議長よろしくお願いたします。

議長／山本 敦也

この度、第1期豊橋わかば議会議長を務めさせていただくことになりました桜ヶ丘高校1年、山本敦也です。僕がこの豊橋わかば議会委員に立候補させていただいた理由は、自分たちの出したアイデアが実際に実現していくところに魅力を感じたからです。

他の市でも実際に市民にアンケートをとり、その市の課題や今後の政策などについての話し合いが行われているらしいのですが、その話し合いで出たアイデアが実際に実現していくかといわれると、そうではない場合が多いようです。しかし、この豊橋わかば議会は違います。1年間を通じて、豊橋市の課題などについて話し合い、魅力あるまちに変えていくためには、これからどのようなことをしていけばよいのか、より具体的な案をまとめ上げます。そして、11月下旬には、これまで練り上げてきた政策を市長に提案し、来年度には実際に予算がつき、実現していくことが可能なのです。これは、豊橋市ならではの取り組みだと思います。

僕は冒頭にもお話させていただいたとおり、議長を務めさせていただくことになりました。議長としての自覚をしっかりと持ち、ほかの委員の皆さんと共に、この豊橋を日本で一番魅力のあるまちに変えていくことができるよう全力で頑張ります。そして、この経験を自身自身の成長にもつなげていきたいと考えています。

1年間よろしくお願いいいたします。ご清聴ありがとうございました。

司会／今泉市民協働推進課長

ありがとうございました。

それでは次に、山本議長から副議長の指名をよろしくお願ひします。

議長／山本 敦也

副議長は、香田和佳奈委員にお願ひいたします。

司会／今泉市民協働推進課長

香田委員、その場でお立ちください。

それでは、香田副議長、一言御挨拶をお願ひいたします。

副議長／香田 和佳奈

副議長に選任していただきました香田です。

議長の方や委員の皆様のサポートができるように一生懸命頑張っていきたいと思ひます。

よろしくお願ひします。

司会／今泉市民協働推進課長

ありがとうございました。

それでは、これより、山本議長に進行をお願ひいたします。

では、山本議長よろしくお願ひいたします。

4. 所信表明

議長／山本 敦也

それでは、所信表明を行います。

わかば議会委員から、一人ずつ所信表明をお願ひしたいと思ひます。

天野愛悠委員お願ひします。

委員／天野 愛悠

この度、豊橋わかば議会若者委員となりました天野愛悠です。第1期生という貴重な場に携わることができ、とても光栄です。1期生というのはなにかもが初めてで、私たちがこれからのわかば議会の先駆けとなりますので、責任を持って務めていきたいと思ひます。

私は高校生の時には、J K広報室という活動に参加していましたが、部活や受験勉強があったこともあり、あまり参加できず、不完全燃焼で終わってしまいました。そんな時に、このわかば議会募集の広告を見て、応募させていただきました。この場を借りて、私がこの1年間達成したい目標を掲げさせていただきます。

1つ目は私自身のコミュニケーション能力の向上です。私は昔から人見知りが酷く、人前で意見を言う事があまり得意ではありません。しかし、そんな私だからこそ、このわかば議会を通して、コミュニケーション能力を高めていきたいです。

2つ目は、地域の活性化です。私は豊橋が大好きで、この先就職しても結婚しても、ずっと豊橋に住み続けたいと思っています。そして、私が豊橋を好きなようにみんなからもっと愛されるまちづくりを目指していきたいと思います。

今年はコロナウイルスの影響もあり、行事も全てなくなっていました。ですが、そんな今だからこそ、来年度の行事をより地域の方に楽しんでもらえるような案を出したり、コロナウイルスによって打撃を受けている飲食店や農家をPRする企画を作り、コロナウイルスが収束するころには元の状態を保てるように、地域の方々とともにコロナウイルスを乗り越えていきたいと思っています。

ここで、まちづくりをするにあたってウォルト・ディズニーのこんな言葉を紹介します。「現状維持では後退するばかりである。」この言葉のように、ただ守ってだけでなく、伝統を守りつつ、新しいものを取り入れ、10年後、100年後と続いていくようなまちにしていきたいと思っています。

以上をもちまして、決意の言葉とさせていただきます。1年間よろしくお願ひします。

議長／山本 敦也

天野未悠委員、お願ひします。

委員／天野 未悠

みなさん、こんにちは。第1期生わかば議会委員に選任していただきました、椛山女学園大学現代マネジメント学部2年の天野未悠です。

トップバッターで話したのが、私の妹なんですけれども、今回姉妹揃ってわかば議員になれたことを嬉しく思っています。未熟ながらも自分の頭で考え、議会にて考えをしっかりと発信して話し合いをより良くしていきたいと思っています。よろしくお願ひします。

私がわかば議員でやりたいことは2つあります。1つ目はわかば議員の皆さんとの交流です。前回、初めてわかば議員の皆さんとお会いした時に、どの方も豊橋が好きで、豊橋をより良くしていこうという熱い思いが感じられました。そして、これからの議会が楽しみになりました。わかば議会では高校生から社会人という幅広い年代の方と関われる貴重な機会なので、積極的に考えを深めたいです。そして、様々な考え方を取り入れ、自分の視野を広くし、成長へとつなげたいです。また、私は大学でディスカッション部に所属しています。そこでは、普段からSDGsといった地球環境問題やジェンダー論など、世界の様々な問題について話し合っています。その経験も生かして、より話し合いを一緒に作っていききたいと思っています。

2つ目は、私の豊橋で一番好きなおとこであり、豊橋の魅力の1つともいえる鬼祭りを守

ることです。私は鬼祭りに関わりのある地域に住んでいるので、小さいころから年に1度の鬼祭りを心待ちにし、毎年必ず参加していました。そして、年に一度の本番のために年中かけて準備を行っていること、また鬼祭りの後継者不足で悩む姿も間近で見えてきました。佐原市長のマスクもすごい、トヨッキーのマスクが素敵だなと思って見ていたんですが、そんな風に地域の人々に愛される鬼祭り、そして千年以上続く歴史ある鬼祭りをこれからも守り続け、これからの子どもたちもまた私のように鬼祭りに参加でき、地域の人々の温かみを感じ、豊橋のことが大好きになる、これからの子どもたちへのそんな思いがあります。

そのためには、豊橋市外だけでなく、豊橋市民にも豊橋の良さを再PRすべきだと思います。豊橋は何もないからといって、地元を出て都市部に行ってしまう若者が多くいると聞きます。鬼祭り、路面電車、ブラックサンダー、530運動発祥の地、手筒花火、豊橋にはこんなにも他の町にはないものがたくさんあるんだよ、と私は声を大にして言いたいです。豊橋の良いところをたくさん発信できる、そんなわかば議会でありたいと思います。

豊橋が好きな気持ちはだれにも負けません。豊橋とともに自分も成長できるように、真剣にわかば議員を務めさせていただきたいと思います。よろしくお願いします。

議長／山本 敦也

石黒 友実子（いしぐろ ゆみこ）委員 お願いします。

委員／石黒 友実子

時習館高校2年、石黒友実子です。

私はまちづくりや市民参加の活動に興味があり、将来は自分の住むまちに貢献できるような仕事につきたいと思っています。昨年、学校で新城市の若者議会についての講演を聞き、私のような高校生の世代でもまちづくりに参加でき、様々な経験を通して、まちに貢献できることを知り、とても魅力を感じました。参加してみたいと思いましたが、その時は交通面の理由で諦めていたところ、今回学校に掲示されていたポスターから豊橋市で豊橋わかば議会が作られることを知り、是非私も参加してみたいと思いました。そして、昨年学校で東三河について研究し、発表するという授業があり、私はグループで「豊橋市をさらに発展させるには」というテーマで発表を行い、さらにまちづくりとまちへの貢献に興味を持ちました。また、豊橋市はとても住みやすく魅力的なところがとてもたくさんあると感じているからこそ、より良いまちにしていきたいと思います。そのために、様々な角度から物事を考え、積極的に自分のアイデアを出していきたいと思います。

それから今回、高校生だけでなく、普段はあまり関わることのできない大学生や社会人の方々と交流しながら活動できるということは、様々な意見やものの見方や考え方があるということを学べる、とても良い機会だと思いました。

私はまだまだ豊橋について知らないことが多いと思いますが、豊橋わかば議会での活動を通して、大好きな豊橋をより良くすることに、少しでも関わることを楽しみ

にしています。1年間よろしく申し上げます。

議長／山本 敦也

市川朝日香委員、お願いします。

委員／市川 朝日香

時習館高校2年、市川朝日香です。私がわかば議会に応募した理由は、自分たちの考えたことで誰かの役に立つという経験をしてみたいと思ったからです。私は以前、高校で様々な探究活動を行ってきました。ですが、それらはあくまで授業の一環であり、すべての研究は発表までで終わってしまい、実行することができませんでした。ですから、私は自分の考えが、考えのまま終わってしまったということにとっても心残りがあります。

このわかば議会では、実際に考えた政策に1千万円もの予算がつき、今まで私の経験してきた次の段階である実行するというところに挑戦できるところに魅力を感じています。課題を見つけて予算の範囲で解決するということが私が予想している以上に難しいことだと思います。1千万円という額は市政にとっては標準的な額かもしれませんが、今の私にとってはとても膨大でどのくらいの規模のことまで実現可能なのか全く想像もつきません。また、市を動かすことは高校生の私の力だけでは不可能です。しかし、わかば議会には、社会人の方や大学生の方も参加しているので、たくさんの視点から豊橋について考えることができ、より実現可能な政策を完成できると思います。最高の政策を作り上げるためにも、ほかの議員に頼ってばかりではなく、自分からも意見をたくさん出して、貢献していきたいです。私は现阶段では、市政のことも豊橋のことも、まだまだ知らないことばかりですが、この貴重な経験を通じて、豊橋のこと、市政の仕組みもより知っていったらなと思います。

また、私は豊橋がとても好きです。豊橋に住む高校生や大学生が、わかば議会でも市政に関わることで私たちと同じ若年層の人たちが豊橋に興味を持つきっかけにできたらいいなと思います。1年間よろしく申し上げます。

議長／山本 敦也

大木悠也委員、お願いします。

委員／大木 悠也

豊橋中央高校2年の大木悠也です。

僕は野菜が好きです。野菜は食べておいしいのはもちろん、育てることも楽しいです。各家庭で色々な調理法もあり、野菜の楽しみ方はたくさんあります。子どもの頃、おじいちゃんが野菜やお米を育てているのを手伝っていました。僕が通う豊橋中央高校でも、野菜を育てています。自分の手で育てることによって、野菜に対する思いがより強くなりました。

僕は豊橋の美味しい野菜を多くの人に広めたいです。そのためには、地元の野菜や農家さ

んについて、詳しく書いた広告を作ったりし、地元の新鮮な野菜を使ったお店がもっと増えたらいいと思います。それは、地産地消ということにもなり、まちの活性化につながるのではないかと考えています。より多くの人に楽しんでもらえるように店内を明るくしたり、あるいは個性的にしたり、花のまち豊橋というように店内にたくさんの地元の花を置くのもいいと思います。

僕は音楽も好きです。オープンデッキを設け、広場などで豊橋の新鮮な野菜と音楽を融合したイベントやフェスなどを開いて、豊橋市を僕たち自身が誇り愛せるようなまちにしていきたいと思っています。

1年間よろしくお願いします。

議長／山本 敦也

太田まこ委員、お願いします。

委員／太田 まこ

豊橋商業高校3年、太田まこです。私はもっと多くの人に豊橋の魅力を伝えたいと思い、この豊橋わかば議会に応募しました。

なぜなら、学校で豊橋の魅力を出し合おうという授業をした時、多くの生徒が「豊橋の魅力って何?」、「豊橋は好きだけど、魅力って言われたらあまり思いつかないな」と豊橋の魅力に気づいていない人が多くいることが分かったからです。私も色々な方のお話を聞いたり、自分でインターネットなどにより調べたりすることで初めて知る魅力がたくさんありました。こんなに良いところがあるのに、住んでいる人がその魅力に気づいていないことは、とても悲しいことだと思いました。私はどうしたらもっと多くの人に豊橋の魅力を知ってもらえるかを考えました。

そこで、まずは影響力の強い学生をターゲットに絞り、積極的に魅力を知ってもらうための政策が必要だと考えました。そして、SNSで発信してもらうことで、より多くの人に魅力を知ってもらうことができるのではないかと思います。考えるだけでは何も変わりませんが、このわかば議会ではこうした政策の実現を目指すことができます。今まで、私は自分から何かを変えようと行動することを、自分で何かを変えられるわけがないと避けてきました。でも、このわかば議会に参加することができ、改めて豊橋について考えた時、自分も豊橋をより良いまちにするために何かをしたいという思いが強くなりました。

同じ思いを持つ方々と、目標実現のために活動できることをとても嬉しく思います。積極的に活動に参加し、豊橋をより良いまちにするために頑張っていきます。1年間よろしくお願いします。

議長／山本 敦也

本日、菊池 二千翔委員は都合により欠席されております。菊池委員より所信表明を文書

で受け取っておりますので、香田副議長より代読させていただきます。

副議長／香田 和佳奈

私は、豊橋駅周辺にある、ときわ通りを変えたいという思いで豊橋わかば議会に参加しました。はっきり言ってときわ通りは昼でも夜でも近づきにくい暗い雰囲気があります。暗い雰囲気に加え、治安も悪いです。私はこの弱そうな見た目からか、一度彼女連れのヤンキーに絡まれました。彼女の前で強さを誇示したかったのでしょうか。私は何もできず早歩きで逃げました。そしてその時、豊橋を変えたいと思いました。

この出来事をきっかけに、豊橋のことについて考えはじめ、ときわ通りだけでなく、シャッター通りと化した商店街や空き家など、豊橋市の都市部全体にスポンジ化が起きていることに気づきました。それに伴い、体感しやすい治安の悪化が起きています。

この問題は、一歩ずつステップを踏み解決すべき問題です。

なので、まずは顕著にみられる問題である、ときわ通りの活性化を目指すことによって波紋のように広がり、ゆくゆくは豊橋市全体の活性化につながると考えています。

より良いまちづくりができるよう、私個人の感じた問題だけを押し通すのではなく、柔軟に皆様と意見交換ができればと思います。

まだまだ未熟ではありますが、積極的に取組、向上心を持って邁進し、地元豊橋を今より住みよい街にするため、最善を尽くすことを誓います。

以上です。

議長／山本 敦也

次に、熊谷彰太委員、お願いします。

委員／熊谷 彰太

こんばんは。桜ヶ丘高校から来ました3年生、生徒会副会長の熊谷彰太です。僕は桜ヶ丘高校で、生徒会を1年生の頃から参加させていただきました。2年生後期では生徒会長、現在は副会長として活動させていただいております。そんな中で僕が活動していく中でのモットーは、「誰かのために120%全力を尽くす」ということです。もちろん、これは勉強にも自主活動にも、もちろん恋にも120%尽くす、そんなつもりで動いています。ここで、僕は思いました。高校3年生になったからには、大人の階段も登ってくるころ、だからできれば市と協力して、何か一つのことできないか、そう思いました。これからを生きる高校生の力を使い、積極的に意見を出すことで、豊橋をより良く活性化していきたいと、そう思いました。

17年間住んできたこの豊橋市、僕は本当に大好きです。この思いを胸に、これから1年間活動していきます。よろしくお願いします。

以上です。ありがとうございました。

議長／山本 敦也

本日、熊谷ゆらら委員は都合により欠席されております。熊谷委員より所信表明を文書で受け取っておりますので、香田副議長より代読させていただきます。

副議長／香田 和佳奈

この度、わかば議会に参加させていただけることになり、とてもうれしく思っています。私が参加するきっかけとなったのは、新城の若者議会を知ったことです。若者議会での提案が実際に行われている様子を知り、憧れの気持ちと自分もやってみたいという気持ちが生まれました。そして、豊橋でも同じような活動があったら絶対に参加したいと思っていました。学校で行っている探究活動での経験を踏まえて、いろいろな提案をしていきたいと思えます。少しでも豊橋がよりよいまちになるよう一生懸命取り組んでいきます。今回いただいたチャンスを最大限に生かしてがんばっていきたく思います。よろしくお願ひします。

議長／山本 敦也

香田和佳奈委員、よろしくお願ひいたします。

副議長／香田 和佳奈

先ほどもご挨拶させていただきました。香田和佳奈です。私は実際に考えた政策を事業として実現できるこの企画に魅力を感じ、委員となることを決意しました。意欲溢れる委員の皆さんと活動できることを嬉しく思うとともに、このような前衛的な場を設けてくださった豊橋市、並びに市民協働推進課の方々、市職員の皆様に感謝申し上げたいと思ひます。

さて、私は子どもの頃から本が大好きです。豊橋市では現在、まちなか図書館の開館の企画がされていることを知り、完成を心待ちにしています。そこで、さらに図書館サービスを市民にとって身近なものとするために図書館という枠を超えて、もっと多くの人に本を読んでもらうために、私は移動図書館が有用であると考えます。私が豊橋市に移る以前に住んでいた地域では、4トントラックと3.5トントラックを改造し、3千冊の本を積載して、保育園、幼稚園、小中高、養護学校をはじめ、病院、老健施設、JA、企業を22のコースに分け、巡回していました。図書館の方から近くに来てもらえるとしたら、ちょっと出かけてみようかな、と思う方もいらっしゃるかもしれません。移動図書館を通して、子育て中の親同士が会おうきっかけになったり、お年寄りがコミュニティを広げるきっかけになるとも考えられます。これは、豊橋市をより良くしていきたいと願う、一委員の意見に過ぎません。しかし、豊橋市をより魅力的な市にしたいという思ひは、皆同じであると思ひます。アイデアを出し合い、調査や情報収集をしながら、ここに集まった20人の議員の皆さんとともに、より良いものを作り上げたいと思ひます。

また、副議長として、これまでの経験を十分に活かし、持てる力を十分に発揮したく存じ

ます。よろしくお願いいたします。

議長／山本 敦也

榊原光委員、よろしくお願いいたします。

委員／榊原 光

第1期豊橋わかば議員に選任されました榊原光と申します。私は豊橋わかば議会をとおり、このまちについて調べ、知り、発展させることができる良いきっかけにしたいという気持ちで取り組んでいきたいと思っております。

小中学校の頃は校区内、高校生の頃は市内、そして大学生になって、名古屋の学校に進学し、豊橋以外のまちを知ることになりました。大学4年生になって、豊橋に住んでいる長年付き合いのあった友人が就職して、豊橋を離れることになることを知り、豊橋をめぐる旅をすることになりました。私が市内でお出かけた記憶といえば、小さいころに両親に連れていってもらった地下資源化センターや、のんほいパーク、豊橋まつり、ここにこでのロボット作り教室やクッキング教室のことがぼんやりと頭の片隅に残っているくらいです。自発的に市内のどこかに遊びに出かけようと調べたことはなかったため、この時初めて自分が生まれ育った市を、地域を、意識するようになります。その友人との豊橋巡りは市電に乗って、ホットケーキが美味しい純喫茶と豊橋市美術館へ行くものであったり、石巻山に登ったり、懐かしいクレープを食べに行ったり、可愛いカフェにお茶へ行くものでした。これらはとても楽しい時間でした。なんとなく居心地のいいほっとする豊橋のまち、その「なんとなく」の部分をもっと具体的に突き詰め、誰にでもここが魅力なのだと伝えることができるようになりたいです。

また、市内の友人と訪れるには、良いところがたくさんありましたが、豊橋に遊びに来たいといってくれる遠方の知人が相手だと、どこを目玉にして観光をすればよいのかと悩んでしまいます。懐古するにはちょうどよく、しかし豊橋のことをあまり知らない、むしろ新しいものを求めに来る人たちが相手だと若干の物足りなさを感じてしまいます。

私はこのまちの発展のために市内だけでなく、市外からも注目されるようなことがしたいと思っております。1年間よろしくお願いいたします。

議長／山本 敦也

白井竜之進委員、よろしくお願いいたします。

委員／白井 竜之進

浜松学院大学、白井竜之進です。私は、今自分の中で豊橋の改善するところは具体的には見えてきません。なぜなら、豊橋をそのような目線で考えたことが今までなかったからです。このわかば議会の趣旨である、「豊橋をより良くする」、このテーマは漠然とし過ぎて、具体

性が見えてきませんが、それを考えることからやっていくということが、わかば議会の委員に課せられた課題だと私は考えています。このわかば議会は、若者によるまちづくりをしていく会だと自分は認識しています。若者ならではの柔軟な考え方を活かし、ある一点から物事を見つめるだけではなく、様々な視点から様々な対象差を想定し、どういうジャンルで、どのような成果が出るのかを考えた上で、提案し、政策を進めていく必要があると考えています。

このような政策を考えていく中で、必ずメリット、デメリットが出てくると思います。それを私たち若者がどうとらえるのか、いつまでもきれいごとを言っていては始まらず、議会も煮詰まらなないと私は考えます。そのため、私は周りの委員の考えも尊重させていただいて、この議会が円滑に回っていくよう、若者で考えた意見を声を大にして考えていきたいと思っています。

このような、若者のための議会を設けていただいた豊橋市に対し、深く感謝するとともに、わかば議会委員として、職責を果たすべく全力を尽くしてまいりたいと思いますので、よろしく申し上げます。

議長／山本 敦也

高木莉子委員、よろしくお願いいたします。

委員／高木 莉子

この度、豊橋わかば議会の委員となりました豊橋創造大学短期大学部キャリアプランニング科の高木莉子と申します。よろしくお願いいたします。

私が豊橋わかば議会に参加しようと思った理由は、豊橋が好きでより良くしていきたいからです。私は、生まれも育ちも豊橋市です。小学校、中学校、高校、大学と全て市内の学校に通っております。そして、これからも豊橋市に住み続けていきたいと思っています。

さらに豊橋に関わる全ての人に、「豊橋っていいところだな」、「また来たいな」、「住んでみたいな」と思ってほしいです。このように思ってもらうためには、自分自身で豊橋市をより良くしていくべきと考えたので、豊橋わかば議会に参加いたしました。

豊橋にはたくさんの魅力があります。のんほいパークや、豊橋カレーうどん、トヨッキー等々、皆さんが思う魅力があると思います。私はこの豊橋わかば議会で、まだまだ知られていない良さを発見し、伸ばしていきます。さらには改善点を見つけ、それを魅力に変えていけるようにしていきます。市民と一緒に参加したくなるような取り組みを、この豊橋わかば議会で実現していきます。

豊橋と、豊橋わかば議会と、そして私自身が努力し、成長していく1年にしていきます。以上です。ありがとうございました。

議長／山本 敦也

高安駿斗委員、よろしくお願いいたします。

委員／高安 駿斗

豊橋中央高校2年、高安駿斗です。僕は現在、豊橋の中心地から石巻まで自転車で通学しています。田舎の方では街灯が少なく、とても危険に感じます。故意に騒音を大きくするバイクや車、交通ルールを守らない人、危険な運転をする人が多く、安心して帰ることができません。高校生の自分でも怖いと感じるので、小さな子ども、身体に障害のある方やお年寄りの方も怖がっているに違いないと思います。実際、僕の祖母は毎晩、騒音のせいで深夜に目が覚めてしまって、なかなか寝付けないと言っていました。

そこで、僕は賑わっている都会に力を入れるのではなく、過疎化が進み、高齢者の多い田舎でも安心して生活ができる環境づくりに力を入れたいと考えています。

上記に挙げられた以外にも、小学校に不法侵入して遊んでいる人や、公共の場にバイクが集まるなど、なかなか安心して利用できない現状があります。そのため、地域の方と一緒に助け合い、協力して巡回パトロールを行ったり、ポスターなど作成して呼びかけを行ったりしたいと思います。子供の頃と比べるとまちなかだけでなく、田舎の方もだんだんと治安が悪くなってきているように感じます。特に、交通ルールを守らない人が多いです。小さい子どもやお年寄りの方が安心して生活するために、一人一人が意識しなければなりません。そのため、パトロールをして呼びかけたり、市政だよりなどで呼びかけたりしてより良い豊橋を作っていくことが必要だと思います。

1年間よろしくお願いいたします。

議長／山本 敦也

長谷川記加委員は都合により欠席されております。

議長／山本 敦也

福井淳之介委員、よろしくお願いいたします。

委員／福井 淳之介

第1期豊橋わかば議会若者委員に選出されました名城大学経済学部産業社会学科4年の福井淳之介です。

私が、豊橋わかば議会若者委員に応募した理由は2つあります。1つ目は豊橋の魅力をほかの町の人に知ってもらいたいからです。私は日ごろから、豊橋のことを勘違いされていると感じています。現在、豊橋から名古屋の大学に通っていて、名古屋の大学で地元は豊橋という話をする、豊橋って何もないよねとか、さびれているという話をされます。しかし、私はその人たちは勘違いをしていると思います。なぜなら、豊橋は温暖で、食べ物もおいしく住みやすいと感じているからです。例えば、豊橋はスイーツの王国です。ピレーネ、ブラ

ックサンダー、今の時期だと天伯スイカとか、秋だと小島の梨とか、すなわち豊橋は魅力的なまちです。しかし、豊橋のことをほかのまち、そして豊橋に住んでいる人すら、あまり知りません。そこで、私は豊橋の魅力を世の中に発信し、他のまちの人の勘違い、豊橋に住んでいる人に魅力を伝え、そして豊橋って食べ物もおいしいし、いいまちだよねと言っていただけのようなまちにしたいです。

2つ目は普段から感じている豊橋の課題を解決したいからです。普段、豊橋のここを直せばもっと良くなるのにとっても、その課題を解決するのは難しいです。なぜなら、そもそも課題を発信する場がありませんし、予算が必要であったり、お金が必要であったり、ハードルが高いことが多いです。しかし、今回のわかば議会では、予め予算枠 1000 万円が確保してあるため、普段から感じている課題を解決することも可能であると考えます。

すなわち、この豊橋わかば議会を通じて、知っているまち豊橋から、住みたいまち豊橋、住み続けたいまち豊橋にしたいと考えております。1年間よろしく願いいたします。

議長／山本 敦也

本多基準委員、よろしく願いいたします。

委員／本多 基準

こんばんは、わかば議会に選定していただいた本多基準です。自分は今、大学生で愛知大学に通っています。自分の住んでいるまち豊橋市について、もっと知りたいと興味があり、わかば議員に立候補させていただきました。自分は豊橋市に住む大学生という立場で、豊橋のことを考えていますが、ここにいるわかば議員に選定された方々の意見や考え方を聞くことができると思うと、とても楽しみです。

実は先日、土用の丑の日に初めて、豊橋産のうなぎを食べたのですが、今まで食べたうなぎの中で一番おいしく、とても衝撃を受けました。豊橋に 20 年住んでいても、このように豊橋について知らないことがまだまだたくさんあると思います。豊橋市民としてもっと豊橋について詳しく知れたらなと思います。

議会に関しても、学校の授業や講義で、習うことはありますが、実際に議会の議員になるということは、そうそう体験できることではありません。自分にとってもいい経験になると確信しています。わかば議会では愛知大学の地域政策学部で学んだことを活かしつつ、ここにいらっしゃるわかば議員に選定された方々の意見も聞いて、より良いわかば議会を作り出していきたいと思っております。

年代や性別もバラバラですが、豊橋について考える気持ちは同じであると自分は思っておりますので、自分ができる限り精いっぱい頑張りたいです。初めてのことで及ばぬことばかりかと思いますが、1年間よろしく願いいたします。

議長／山本 敦也

松下真子委員、よろしくお願いいたします。

委員／松下 真子

この度、豊橋わかば議会若者委員に選出していただきました、豊橋創造大学短期大学部キャリアプランニング科2年の松下真子と申します。

私は豊川市民で、豊橋市民ではありません。ですが、豊橋のことは大好きで、豊橋にはたくさんの方の魅力があると思っております。豊橋の大学に通うようになって、豊橋に住んでいる友達と話している時に、「豊橋市には何も魅力がない」と言っている友達がありました。ですが、私は豊橋市にはたくさんの方の魅力があると感じています。豊橋まつりもその魅力のひとつだと感じています。昨年度の豊橋まつりに私は、高校生と一緒に約80名で、総踊りに参加いたしました。高校生と一緒に豊橋まつりに参加し盛り上げることにつなげました。同じ大学の学生だけでなく、私よりも年下の学生とも話すことがあり、年下の人にももっと豊橋に興味を持ってもらいたいと思いました。活動しているうちに短期大学の仲間だけでなく、いろいろな同世代の方たちともつながりをもちたいと感じました。これも、わかば議会に参加しようと思った理由の一つです。

私は、このわかば議会でお互いに学び合い、豊橋をより良いまちにし、豊橋市民だけでなく、豊川市など周りの地域にも魅力について知ってもらいたいと思います。よろしくお願いいたします。

議長／山本 敦也

水鳥杏香委員、よろしくお願いいたします。

委員／水鳥 杏香

みなさん、こんばんは。桜ヶ丘高校2年の水鳥杏香です。現在、桜ヶ丘高校の生徒会をしており、ボランティアなど様々な活動を通して、校内・校外問わず、高校生の考えを発信しています。活動の中で豊橋市と掛け合っている事業もありますが、まだまだ進んでいないのが現状です。広い視野を持ち、自分の住む豊橋市のことも考え、活動の幅を広げたい、そう思いました。うずらや大葉など、豊橋市ならではの特産物もたくさん広めていきたいです。私たち高校生の考えを深め、豊橋市のためになにか実現できる機会があるということを知り、興味を持ちました。生徒会活動で行事や企画を一から作る経験を活かし、精いっぱい取り組みます。

今年は新型コロナウイルスの影響で、市をあげて盛り上げていく行事も中止を余儀なくされ、日本全体も豊橋市も気持ちが沈んでいる年ではありますが、高校生の若い力や考えを活かし、今しかできないことや新たな考えを生み出していきたいです。また、大人の方や多くの人と関わりを持ち、いろんな意見も聞いて、交流の幅を広げたいと思い、立候補させていただきました。私のできる限りを尽くしますので、よろしくお願いいたします。

ご清聴ありがとうございました。

議長／山本 敦也

ありがとうございました。

この 20 人で、第 1 期わかば議会一丸となって活動していきたいと思います。

5. 市議会議長挨拶

議長／山本 敦也

それでは、最後に大変お忙しい中、御出席いただきました田中市議会議長から御挨拶をいただきたく思います。

田中議長お願いいたします。

豊橋市議会議長／田中敏一

みなさん、こんばんは。豊橋市議会議長の田中でございます。一言ご挨拶を申し上げます。

とって、ここに立つとですね、ちょっと眺めが違うんです。今日は傍聴者の方がたくさんいてですね、ちょっと緊張しております。

今、わかば議会の皆さんがですね、市長から委嘱状をいただいて、今一人一人が所信表明をしたわけなんです、一番私が心に残ったことは、「このまち豊橋が好きだ」と、この気持ちは大切だなと、そうしたまちを住みよいまちにしたい、まちを活性化したい、そういったまちづくりに参加していきたい、そしてまたさっき、図書館を活用したまちづくりをしてみたいとか、安全なまちにしてみたい、農業を広めてみたい、もっともっと豊橋の魅力を知ってもらいたい、こういう気持ちはものすごい大切なものじゃないかなと。所信表明を聞いてですね、みなさんの豊橋に対する思い、この議会に対する思いがしっかりと伝わってまいりました。

今、豊橋ではこれから高齢化があり、高齢者が多くなったり、子どもたちが少なくなったということですね、まちはだんだん厳しいとそういったことを言われていますけれど、ただ皆さん今、豊橋が好きだと、この豊橋ずっと住みたい、この気持ちをずっと忘れないで。この豊橋に住んで、この豊橋を活性化していく。そういったことをしっかりと考えていただきたい。そして、皆さんが今まで抱いた思い、考え、この議会に参加した思いをしっかりとぶつけていただいて、豊橋にこうしたものがあつたらいい、こうした政策があつた方がいい、そうしたものをしっかりと伝えていって。

この 11 月ぐらいですかね、いろんな意見をまとめて市長のところに出す。それがですね、政策が提案されて、皆さんの力をもってこの豊橋が動いてくるこれは素晴らしいことだなと、そんな風に思います。この 1 年間ですね、皆さんは学校の授業もあつたり、仕事もあつたり、いろいろ大変忙しいと思いますけれども、豊橋に対する思いをいつまでも夢にみてですね、思いを持って頑張っていたいただきたい。先ほど誰か言いましたけれど、「私は 120%で

頑張る」、やっぱり目標を達成するために100%でいっても、一生懸命頑張っても、80%になるかもわからない。だから、目標は120%をもっていくんだ、と。120%を目標にすれば、ちょっと間違えても100%は達成できるだろうと、そういう思いを持ってやるということも大切だと。そういった皆さんの若い力をですね、しっかりとぶつけていただいて、この豊橋のまちを、将来をしっかりと見つめていただきたいなど、そんな風に思います。その豊橋の思いを実現できるという事をですね、必ず皆さん心に抱いて、参加して頑張っていたきたいなどと思います。

そういうことをですね、ご期待を申し上げながら、簡単ではございますけれど、私からのご挨拶に代えさせていただきます。

ありがとうございます。今日のご苦勞様でございました。

6. 閉会

議長／山本 敦也

ありがとうございました。

本日は、大変お忙しい中、佐原市長、田中市議会議長、松崎市議会副議長並びに市役所関係者のみなさまにお越しいただき誠にありがとうございました。

以上をもちまして、令和2年度第1回豊橋わかば議会を終了いたします。